

教 官 紹 介

滝口 禎雅

(研修統括・実技担当)



中央研修所の教官になって29年が経ちました。
初めて担当した研修から現在まで「わかりやすく」「ためになる」研修をモットーにしています。

安全運転のためには、技術も大事ですが、それ以上に「車の怖さ」を知ることが大切です。

楽しく研修を受ける中で、車の怖さに気づいていただけることを心がけています。

【主な担当課程】

- ・安全運転管理課程
- ・安全運転実技指導員課程
- ・一般緊急自動車運転技能者課程
- ・消防・救急緊急自動車運転技能者課程
- ・青少年運転指導者課程

上原 厚美

(代表教官・実技担当)



皆さんは運転中に安全確認をしますが、「安全」というものが見えたことはありますか…？安全とは決して目に見えるものではなく、対極にある「危険」からより離れたところにある、言わば概念のようなものです。

安全の明確な説明は難しいですが、運転中の危険は明確に存在し、目で見たり体感することができます。研修では「危険を安全に体験する」をキャッチフレーズに、運転中の危険と真正面から向き合っていただくことにより、求めるべき「安全」が皆様の心の目で見えるよう努めています。

【主な担当課程】

- ・各教習課程
- ・各講習課程

松尾 克嘉

(実技担当)



「安全運転をしましょう。」当たり前を使う言葉、皆さんが考える安全運転とはどんな運転でしょうか。

何かをする運転ですか。何かをしない運転ですか。その境界はどこでしょうか。

研修では、運転における危険を安全に体験しながら、車の限界や、それを操る人間の限界・心理を皆さんと一緒に考え、「安全運転をする。」には何が必要で、何が不要なのかを皆さん自らが答えを探し出せるようサポートし、今後の運転に取り入れてもらえるような研修を心がけています。

【主な担当課程】

- ・一般緊急自動車運転技能者課程
- ・消防・救急緊急自動車運転技能者課程
- ・特定業務運転者課程
- ・青少年運転指導者課程
- ・青少年運転者課程

高橋 正憲

(実技担当)



「気をつけてね！！」

日常生活では、家族や職場の仲間に向けてよく使われる言葉です。しかし、その一言だけで事故を防ぐことはできません。そしてそれは、運転者教育を担当する指導員にもいえることであり、「気をつけて」ではなく、できる限り具体的、かつ、端的な説明をすることが求められます。今後の運転に好ましい影響を与えるための効果的な教育手法や、運転者教育の考え方、指導員としてのスタンスを研修生の皆さんに伝える方法について、常に考えて研修にあたっています。

【主な担当課程】

- ・各教習課程
- ・各講習課程

近藤 敏幸

(実技担当)



皆さん、こんにちは。実技教官の近藤です。

皆さんはこんな言葉をご存じですか？

「なくて七癖・あって四十八癖」

人には良い癖と悪い癖があり、車の運転にも同じ事が言えます。

安全運転にとっての「良い癖」と「危険な癖」。

安全運転中央研修所では、安全に危険体験をして、ご自身の運転の癖を理解してもらい、今後の安全運転に繋げていただきたいと思います。

皆さん、是非、安全運転中央研修所で、私達と一緒に体験してみませんか？

心よりお待ちしております。

【主な担当課程】

- ・貨物自動車運転者課程
- ・特定業務運転者課程

小濱 春彦

(実技担当)



「バス運転者」、大型車で唯一人命を預かる運転者として、あえて危険な運転、体験を通していかに基本に還った安全運転に気づいて貰えるか、どう伝わるか、私自身の経験談を交えながら、危険に近づかないための「気づき」のきっかけ作りになるような研修を心がけています。

【主な担当課程】

- ・旅客自動車運転者課程
- ・特定業務運転者課程